


第 67 号
平成 29 年 7 月 3 日 発行
発 行 広 島 県 立 障 害 者 リ ハ ビ リ テー シ ョ ン セ ン ター あ け ぼ の 〒739-0036 東 広 島 市 西 条 町 田 口 295-3 TEL (082) 425-1455
印 刷 所 ワークホーム 聖 恵 竹 原 市 忠 海 中 町 三 丁 目 16 番 1 号 TEL (0846) 26-1002

ご利用者の「不安」を「笑顔」に



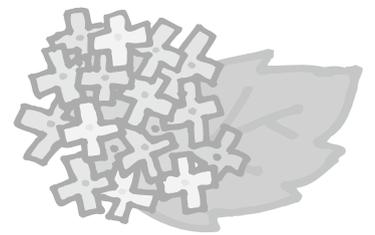
あけぼの長 三宅達士

平素よりあけぼのの運営につきまして、ご利用者やご家族をはじめ関係機関等多くの皆様にご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。ごさいます。

あけぼのは、平成19年度に新体系に移行後10年が経過しました。この間、ご利用者の8割以上が高次脳機能障害のある方となり、新規利用者につきましても約6割が高次脳機能センターか

らの利用と、高次脳機能障害のある方の支援ニーズが増えてきております。こういった状況を踏まえ、機能訓練の定員を見直し生活訓練の充実を図ることを目的として、過去2度の定員変更を行ってまいりました。

今後の課題としては、更なる機能訓練の定員見直しと高次脳機能センターからの新規の利用状況を踏まえながら、全体の定員減（80名↓60名）も視野に入れた定員の見直しが必要と思われまます。



ハード面では、平成6年に建築され老朽化が目立つ施設のリニューアル計画の策定と、浴室関係については、シャワー浴、個浴と整備してまいりました最終段階として、チェアーインバス（車椅子式介護浴槽）の導入を中心とした特浴の整備、居室については、プライバシーと快適性の確保に向けた個室化等について計画的に実施していくことが大きな課題となっております。今年度につきましましてはご利用者の安全確保の観点から、敷地内に防犯用フェンス、防犯カメラの設置を予定しております。

ハード・ソフト両面において課題はたくさんありますが、高次脳機能センターをはじめ関係機関とさらなる連携を図りながら、医療・福祉の連携による社会復帰支援機能を強化して、ご利用者・ご家族の皆様の不安を笑顔にかえていけるよう頑張ってまいります。

“不安をなくしてフ・ア・ンをふやす”
今後ともよろしくお願い申し上げます。

資源回収について

あけぼのでは、昨年3月から日中活動プログラムの中に資源回収を導入しました。作業内容は、主にリハビリテーションセンター内で出された空き缶やダンボール等の回収・選別・納品です。現在、就労移行支援・生活訓練・機能訓練のご利用者を中心に活動を行っています。

この活動を“仕事”と想定し、与えられた役割をきちんと遂行すること、複数で作業する際の対人スキルを身に付けること、体力の向上を図ること等を目的にしています。

今までこの作業に携わったご利用者の中には、活動を通じて自信をつけ、一般就労や復職を実現された方が



4名もおられます。今後も、この活動が社会復帰のきっかけになるよう支援していきたいと考えています。

尚、活動で得た収益は、ご利用者の余暇活動資金などの形で還元させていただいています。保護者の方による資源提供のご協力や、作業に従事したご利用者の努力の甲斐あって、当初の予想を上回る収益を上げています。

『上肢の体操』

はじめました〜！

朝、屋外をしつかりウォーキングした後に、上半身を中心に約20分間、体操しています。

この体操は、リハビリテーションセンターの作業療法で20年以上前から取り入れている、自主訓練用のカード体操が基になっています。

リラックスして、楽しみながら、ゆつくりと……。特に「ゆつくり」がポイント。動かす範囲の拡大や、筋力アップに繋がります。

自分で身体の管理をしているのは難しいことですが、みんな楽しく取り組む経験を通じて、一人でもトレーニンングを続けられるようになることが目標です。

参加している皆さんから



は、「手が後ろに回るようになって、体を洗うのが楽になった。」「肩が上がるようになった。」「足を組むことができた。」「足を組むことができなくなったのが、手を使っているようになった。」などの、うれしい声が聞かれます！

★生活訓練レクリエーション★

あけぼの生活訓練は高次脳機能障害のある方が利用されており、記憶障害、遂行機能障害（計画的に行動することが難しい）等の症状と向き合いながら日々訓練に取り組みられています。生活訓練では月1回レクリエーションの時間を設けており、卓球、バドミントンなどのスポーツの他、そうめん流しや茶話会など様々な企画を実施してきました。これは、訓練の一環として利用者が企画、準備、当日の進行を担い、職員はフォローする形で行われています。メンバーが意見、希望を出し合い内容が検討される中、あけぼの長をモデルに参加者が絵を描く「似顔絵大会」等、職員ではなかなか考えつかないような独創的な企画も実現しました。10名以上いるメンバー全員が楽しめるよう内容を考慮し、協力し合っていくことは大変ですが、周囲と上手くコミュニケーションをとる良好な関係を築く為の、体験の場となっているようです。

レクリエーションが、日々の訓練の中の楽しみとしてだけでなく、利用者自身が企画を進める中で自分の作業遂行上の困難さに気づき、対処方法を考える機会になればと考えています。



ご利用者の声



森川良治さん

あけぼの機能訓練を利用して、早や1年!! 歩行の練習を毎日やってきました。軽作業やプリント課題もやっています。外出訓練や調理実習もやりました。それから、ルールを守ることや時間を守ることにもがんばっています。6月からは禁煙もがんばっています。仕事に就けるように、集中力と継続力をつけて、がんばってやっていきたいです。

…… 森川さんの“がんばり”が希望の実現に繋がるように、応援しています！（訓練担当）

行事紹介

あけぼのでは、ご利用者の皆様に楽しく過ごしていただけるように様々な行事を企画しています。日帰り旅行やあけぼの祭、年送り会などを予定しています。

☆マジックショー (3月5日)

‘なんちゃってマジシャンしげ’さん他による、間近で見るマジックショーは迫力満点で、驚きの連続！



☆鍋 会 (3月16日)

まだまだ寒い冬の終わりには、やっぱり鍋で温まるのが一番！心も体もポッカポカ



☆書道展……in東広島芸術文化ホール「くらら」

& 酒蔵巡り (3月24日)

利用者の皆さんの作品がズラリと並んでいました。ついでに西条の酒蔵巡りもしましたよ。



☆バーベキュー (4月13日)

あけぼの自慢のテラスで、好天の下、食べるお肉は一味違って美味しかったですね！天気も良くて最高で～す！



☆レーナマリアコンサート

in呉市文化ホール (5月27日)

透き通った歌声に感動！思わず涙を流される方もいらっしゃいました。



☆ウクレレ演奏会 (6月3日)

広島ウクレレクラブの皆さんがあけぼのに来てくれました。素敵な音色に癒されました～。



☆スポーツ大会……inスポーツ交流センター

おりづる (6月7日)

風船バレーとボウリング、白熱した試合で盛り上がりましたね。豪華(?) 景品もありました！



☆プロ野球観戦……マツダスタジアム (6月17日)

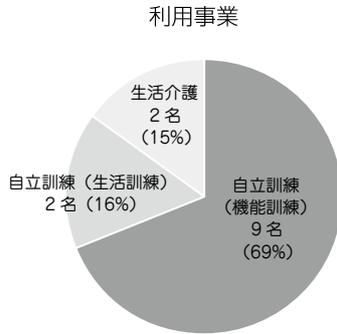
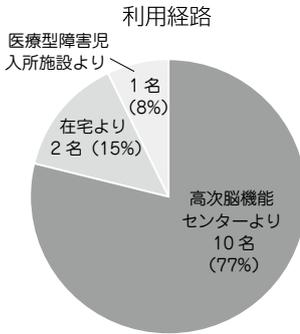
カープの熱闘に大興奮！今年は日本でしょ！！



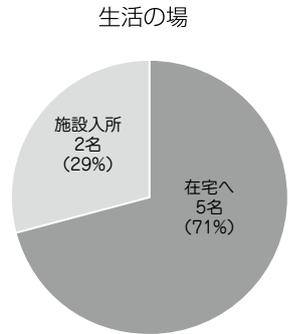
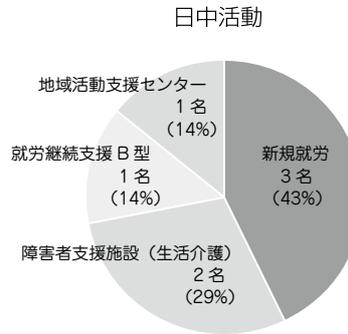
◆利用者の動き◆

(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

《新規利用者》 入所12名 通所1名



《退所者の進路》 退所7名



- ①自分を動物にたとえるなら。または、誰に似ているといわれますか？
- ②趣味は何ですか？
- ③子供の頃の「将来の夢」は何でしたか？
- ④ストレスの解消方法を教えてください。
- ⑤休日は何をしていますか？
- ⑥利用者の皆さんに一言お願いします。




副看護師長
津山文男

- ①猿
- ②釣り
- ③アクションスター（ジャパンアクションクラブに入る）
- ④酒を飲む
- ⑤庭の草取り、園芸（花、野菜）
- ⑥利用者中心に質の高い心温まる看護の提供ができる様、日々精進したいと思います。



主任
杵築美穂子

- ①最近クマに似ているとよく言われます。
- ②好きなバンドのライブに行くこと。遠征もします。
- ③「社会を明るくする仕事をしたい」と言っていました。
- ④信頼できる人に愚痴を聞いてもらう。ライブに行く。
- ⑤ライブに行く日以外は、内なる自分との対話をします（つまり、ボーっとする）。
- ⑥みなさんの笑顔がたくさん見られるよう、誠心誠意、支援させていただきます。よろしくお願いします。



支援員
竹内里美

- ①動物なら日本犬。利用者さんから「イモトアヤコさん」と言われました。
- ②音楽を聞くこと
- ③動物の飼育員
- ④体を動かしています。
- ⑤録画したDVDを見ています。
- ⑥内服時など、何回もお名前を確認の為に呼びます。よろしくお願いします。



支援員
篠崎美保

- ①ネコ
- ②料理を作ること
- ③獣医
- ④昼寝すること
- ⑤家の掃除
- ⑥よろしくお願いします。



「施設見学会」開催しました

2月22日、回復期リハビリテーション病棟のある医療機関の相談員さんを対象に、「あけぼの施設見学会」を開催しました。現在、あけぼのご利用者の8割以上を脳血管障害や頭部外傷などによる脳損傷者が占めており、利用経路の殆どが隣接するリハビリテーションセンターの高次脳機能センターまたは医療センターからあけぼのご利用です。このような背景もあり、今回の施設見学会はあけぼのとりハビリテーションセンターの見学と機能紹介、支援事例の紹介を通し、あけぼのとりハビリテーションセンターの連携による福祉と医療の一体的な支援について参加いただいた皆様を知っていただき、今後の連携強化を目的に行いました。

見学会には県内7機関から18名、相談員さんの他、看護師やセラピストさんも参加くださいました。ご参加の皆様から、「あけぼのやりハビリテーションセンターの有する機能や、支援の実際が分かり、今後の連携について理解が深まった。」など、概ね好評をいただきました。ご参加いただいた皆様からの声に、改めてあけぼのに期待される役割を考えさせられたと同時に、ご利用者の皆様に「あけぼのを利用して良かった。」思っていただけのように、日々努めていかなければならないとの思いを新たにしました。



あけぼのでは随時、見学をお受けしております。見学のご希望のある方は、お気軽に、あけぼの(082-425-1455)までご連絡ください。

編集後記

今年度もスタートして早3か月が過ぎ、新年度のあわただしさもだいぶ落ち着いてきました。暑さも厳しくなってきた今日この頃、水分と栄養をしっかりと摂って夏バテに気をつけなければなりませんね。

曙光は年2回の発行となっております。

次回お目にかかる時には寒さ厳しい冬となっておりますことでしょうか。



題字紹介



今回の題字は、生活訓練利用中のH・Tさんに書いていただきました。

H・Tさんは、笑顔の素敵な好青年です。書道の時間は、講師のお手本からではなく、新聞の中から気に入った文字を選んで、個人的な書をたしなまれます。今回は、お手本を見ながら集中して仕上げてくださいました。